

# 令和5年度学校評価 検討結果一覧

大田市立第二中学校

学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。アンケート結果の考察や学校運営協議会からの助言等を下記のようにまとめました。

取組の重点	取組と成果	課題と今後の対応
学校経営の基盤	<b>学校教育目標</b> ○生徒の実態、発達段階に応じた願い等をふまえ、学校教育目標を設定している。全校や学年集会等において目標に応じた行動を示したり、目標を視覚化したりした。また、生徒会も教育目標や集会での校長や教員の講話を取り入れた活動を工夫してくれた。	○生徒会、PTA、学校運営協議会、職員が学校教育目標を今以上に共有し、具現化していけるよう、連携を深めていきたい。 ○たより、ホームページ等での発信を精選・充実し、これまで以上に学校公開を進めていきたい。
	<b>人権教育の推進</b> ○人権集会や講演会では、LGBT+（性的マイノリティ）を考える機会と設定し、みんなが過ごしやすい学校について考え、意識を高めることができた。 ○日々の生活において、振り返りを充実させることにより、自分や他者の良さを見つけることができる生徒が増えつつある。 ○職員対象のミニ研修の継続実施により、職員の人権感覚の醸成を図った。	○職員と生徒・保護者のアンケート結果にギャップがあった。これまで以上に生徒のよさを認め、保護者に丁寧に思いを伝える必要がある。 ○大田分教室とのより良い交流に努め、互いの良さや強みを認め合う振り返りを実施していきたい。 ○教職員が今後も様々な人権課題に関する理解を深められるよう、研修を計画的に継続的に行っていききたい。職員集団として高め合う雰囲気づくりに努め、生徒の範となっていきたい。
	<b>施設管理等</b> ○「安全点検」を定期的を実施し、危険箇所の早期発見・修繕に努めた。 ○校務技能員によって、棚づくりや施設の修理・修繕等を行い、大規模改修とはいかないが、常によりよい環境づくりに努めている。 ○少しでも使いやすいトイレをめざし、すのこや除菌用アルコールを置くなどしている。	○市教委と連携を図り、修繕を図っているが、予算がなく、大規模修繕が行われない。 ○校庭や校舎が広く、校務技能員や職員だけでは十分な環境整備ができない。環境部を中心に PTAにも協力していただけるような仕組みを作っていきたい。
<b>家庭、地域との連携</b> <b>家庭、地域との連携</b> ○様々なアンケートや欠席等の連絡をネット回答とすることで、保護者の負担軽減、学校の集計のしやすさを試みた。 ○年度当初希望制懇談を実施し、新年度すぐのところで家庭との連携を図った。 ○GW 明けからは、学校を公開する機会をコロナ禍前の状況に戻した。体育祭、文化祭、ダンス発表には多くの保護者が来校してくださり、生徒の励みになっていた。 ○校庭の除草にコミュニティースクール推進員さん等、地域の方も多数参加してくださった。	○学校行事や学校公開に多数の保護者が来校してくださった。今後は学校を積極的に公開し、生徒たちの頑張っている姿を見ていただきたい。 ○体育祭での集計間違い等、影響の大きなミスを起こしてしまい、申し訳なかった。今後は、複数人による作業・確認等を徹底することで、未然防止に努めたい。	
確かな学力の育成	<b>授業改善・家庭学習</b> ○「全員参加の授業づくり」や「協働的な学び」、「ユニバーサルデザイン」を意識した授業づくりに取り組んだ成果が出てきた。 ○少人数授業や TT 授業を適切に実施することで、生徒の「わかりたい」という気持ちに寄り添うことができ、きめ細かな教科指導ができていく。 ○電子黒板や実物投影機を有効に活用することで、視覚的にわかりやすい授業を展開することができた。	○授業公開日に少人数授業や TT 授業を積極的に公開することで、学力育成の取組を積極的に伝えていきたい。 ○家庭学習においては、自主学習の在り方について、再検討する必要がある。また、個々の健康(睡眠等)や家庭での時間の使い方について、保護者にも協力していただきながら、生徒の支援を強化していきたい。 ○タブレットを用いた学力保障を充実させたい。
	<b>図書館活用</b> ○タブレットと図書を両方を活用したハイブリッドな学習を進めてきた。総合的な学習の調べ学習を中心に、学校図書館を活用した授業が行われた。	○たよりを通して、図書館活用教育の取組の様子や成果を発信してきた。今後は、ホームページでも発信していきたい。 ○委員会活動を活性化することで、図書館の利用推進を図っていきたい。

	性教育・生活習慣	○Let's Try ヘルスライフの事前指導と事後指導の担任のコメント等、丁寧にを行うことができた。また、記録用紙を学級懇談で保護者に見せることで、行動変容が見られた生徒がいた。	○Let's Try ヘルスライフの年間を通じての振り返りや生活習慣の課題などを共有することを通して、生徒自身のよりよい自分を求めようとする意識を高めていきたい。また、保護者とも情報共有することでさらなる協力をいただき、よりよい生活習慣の定着に努めていきたい。
積極的な生徒指導の推進	積極的な生徒指導	○あいさつの面では、保護者や地域の方から褒めていただくことが多かった。 ○生徒会が積極的に新しい企画等を行い、活発に活動できた。また、体育祭や文化祭では、3年生がリーダーシップを発揮し、自主的・主体的な取組となった。 ○スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、適応指導教室等と連携し、生徒理解に努め、生徒に合わせた支援を考え実施することができた。	○来年度も希望制懇談や学校公開日を適切な時期に実施し、懇談や授業参観を通して、生徒の学習や生活の様子を伝えていきたい。 ○たよりや電話連絡等で、生徒の日々の様子を積極的に保護者に伝えていきたい。 ○通級指導教室や学びいきいきサポーターのいる強みを活かし、生徒それぞれに合った対応が出来るよう、これまで以上に連携をしていきたい。
二中らしさを大切にした教育活動の充実	キャリア教育の充実	○4年ぶりに3年生の職場体験学習を実施することができた。1,2年生は職業調べや上級学校調べを行い、キャリア教育の一部を担った。 ○学校行事の際に、取組目標の確認やその振り返りを実施することで、生徒自身が自分の成長を実感することができた。	○来年度も系統的にキャリア教育を実施していきたい。進路については、学年懇談や学級だより等で、保護者への情報提供に努めたい。また、キャリア・パスポートを、より答えやすいように見直し、学校行事等における自分の取組を振り返ることで、生徒の自己肯定感を高めていきたい。
	道徳教育の充実	○道徳の授業においては、「友だちの考えを聞いたり、グループで話し合ったりして、自分の考えを深めている」生徒が増えてきている。 ○市教研道徳部会を実施し、授業公開と授業研究会を通して、本校の取組を市内小中学校に広めることができた。 ○通知表における道徳の評価について、自分のこととして振り返られるような表記に努めた。	○道徳の時間の、友だちやグループの考えを聞いて自分の考えを深めるという学習の流れに対しては、生徒たちの肯定的な声が多い。今後も校内で研修、授業公開を重ね、生徒たちが自分のこととして思考を深めていける授業づくりに努めていきたい。 ○教育課程を横断しての道徳教育について、さらに整理して実践していきたい。
	特別活動の充実	○生徒総会前には、学級討議の時間を計画的にもち、「話し合い、合意形成、自己決定」できる力の育成に努めた。 ○討議の流れや内容を見直すことで、より良い学校にしていくための建設的な意見が多く寄せられた。	○積極的に発言する生徒が固定されてしまう傾向があった。まずは一人ひとりが自分の意見をもつことが出来るよう、指導の改善・工夫をしていきたい。
	特別支援教育の充実	○大田分教室と連携を図った理解教育の推進により、自分にあった「学び方」を考える時間をもった。 ○必要に応じて個別の指導計画、支援計画を保護者の方と連携し作成した。 ○ユニバーサルデザインの授業づくりに努めた。	○通級指導教室が校内にあることを活かして、個の理解を深める研修をさらに行っていきたい。 ○発達段階に応じた理解学習を実施し、自他の理解を深めさせるとともに「みんなちがってみんないい」の心と行動をさらに育てていきたい。
その他	業務改善	○業務の効率化、情報化に努めている。時間外勤務は減少には転じている。	○学びの質を高めるためには教職員自身の時間の確保(働き方改革)が必要であることの理解を広げていきたい。 ○校務支援システム導入により ICT の有効活用で負担軽減に取り組んでいきたい。 ○経費削減を進めるため、ペーパーレス化を推進していきたい。

【学校運営協議会からの助言や意見】

- 図書館の活用については、各教科の年間指導計画に基づいた授業の展開をしてほしい。
- 登下校の送迎について、特に下校時には、敷地内で自動車、自転車、歩行者が混雑することが多い。事故が起きないように、お互いに譲り合いの気持ちを持ち、安全の確保に努めてほしい。